

第4回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 平成28年11月30日(水) 午前9時30分から
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎3階302会議室
- 3 出席委員 山口会長、西村副会長、川勝委員、廣田委員、光川委員、大久保委員、中村委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 福吉財政調整課長補佐、加茂副主査、岩井主事、加藤臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題
 - (1) ヒアリング結果について
 - (2) その他
- 8 配付資料
 - (1) 日程表
 - (2) 平成29年度要求に係る補助金等に関する審査表集計
 - (3) 平成29年度補助金等予算要求額対前年度増減比較表
 - (4) 答申案(総合評価及び評価コメント記入前のもの)
 - (5) 補助金等調査票・補助金等適正化実行プラン(審査対象以外のもの)

開 議 9時30分

(山口会長)

ただいまから第4回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の会議は、出席7名、全員出席ですので、会議は成立していることをご報告します。

なお、あらかじめご報告申し上げますが、流山市では、審議会等の会議は原則公開としておりますことから、今後も本審議会は公開といたしますので、あらかじめご了解をいただきたいと思います。

本日は、2日間にわたり行いましたヒアリングの結果についてを議題として、進めてまいります。

はじめに、事務局から配付資料等について説明をお願いします。

(事務局)

本日、財政部長と課長は、議会の一般質問が入っており、出席出来ませんのでよろしくをお願いします。

本日の配付資料は、日程表と皆様の審査表を集計したA3の一覧表「平成29年度予算要求に係る補助金等に関する審査表集計」、次にA4の「平成29年度補助金等予算要求額対前年度増減比較表」ですが、これは平成28年度の補助金が補正を経てどのように変化したか、また、平成29年度要求額と比較したものを会長に整理をしていただいてまとめたものです。

次に、答申(案)についても会長に整理していただいで配付しております。

最後に、実行プランの表については審査対象外のものを参考として配付いたします。また、実行プランの修正版につきましては、ヒアリングの中で皆様からご指摘いただいた部分について修正したものを配付いたします。

本日の配付資料については以上です。

(山口会長)

予算の増減比較表は、審議いただくうえで分かりやすくするため、私の方で整理しまとめましたので参考としてください。

本日は、2日間ヒアリングしたものについて総合評価等についてご議論いただきませんが、審議会の日程や時間の都合上、先に答申(案)について、全体的な部分をまとめましたので一旦持ち帰りいただき、次回には本日議論いただいたもの(総合評価・評価コメント)も含めて皆様の意見を伺い、最終的には14日までに答申をまとめたいと思います。

それでは、早速、議題1ヒアリング結果について、事務局からの資料では、各委員の皆様の評価結果が一覧になっておりまので、審議会としての評価を決めていきたいと思ひます。

初めにA3集計表の1ページの4件については

No.1「病院内保育運営事業補助金」は、総合評価がA評価6名、B評価1名です。

No.2「流山市制施行50周年記念第九演奏会事業補助金」は、A評価3名、B評価3名、D評価1名です。

No.3「私立幼稚園園児補助金」は、全員A評価になっています。

No.4「私立保育所AED設置事業補助金」は、A評価4名、B評価2名、C評価1名です。

総合評価のまとめとしては、No.1とNo.3はA評価とし、No.2とNo.4については後で議論します。

次に2ページの4件については、

No.5「自治会掲示板設置費補助金」、No.6「自治会館維持管理費(大規模修繕・冷暖房機器設置)補助金」、No.7「自治会館建設事業補助金」までは、A評価4名、B評価3名ですので、後で議論します。

No.8「重度障害者自動車燃料費助成金」は、全員A評価になっていますので、A評価とさせていただきたいと思います。

次に3ページの4件については、

No.10「障害者福祉サービス等利用助成金」とNo.12「高年齢者等雇用促進奨励金」はA評価6名、B評価1名となっておりますが、No.9「障害者福祉施設整備事業補助金」とNo.11「就労支援施設利用者負担助成金」は、全員A評価になっていますので、このページについては4件ともA評価とさせていただきたいと思います。

次に4ページの4件については、

No.13「障害者職場実習奨励金」は、全員A評価になっていますので、A評価とさせていただきたいと思います。

No.16「農林水産業の振興に関する補助金（保全管理水田維持管理事業奨励金）」は、B評価6名、C評価1名ですので、B評価としたいと思います。

No.14「商業振興共同施設設置等事業費補助金」とNo.15「商店街空き店舗有効活用事業等補助金」は、A評価3名、B評価4名ですので、後で議論します。

次に5ページの4件については、

No.18「農業近代化資金利子補給金」は、A評価6名、B評価1名になっていますので、A評価としたいと思います。

No.17「農林水産業の振興に関する補助金（都市農業振興促進事業費）」は、A評価2名、B評価4名、C評価1名ですので、後で議論します。

No.19「農林水産業の振興に関する補助金（米飯給食における地産地消推進事業）」は、A評価2名、B評価4名、C評価1名ですので、後で議論します。

No.20「農業振興資金利子補給金」は、A評価4名、B評価3名になっていますので、後で議論します。

では、最初のページに戻りまして、A評価としたところについても何かコメントを入れたいことがあれば伺いますが、評価が分かれたところを中心に議論したいと思います。

初めにNo.2の「流山市制施行50周年記念第九演奏会事業補助金」は、A評価3名、B評価3名、D評価1名と意見が分かれておりますので議論をしたうえで総合評価を決めたいと思います。

（西村副会長）

その前に、No.1「病院内保育運営事業補助金」は、25年間ずっと補助しており既得権化していると思います。

（山口会長）

分かりました、これについてはコメントのところで考えたいと思います。

それでは、No.2にもどりますが何か意見はありますか。川勝委員の評価が低くなっていますが。

（川勝委員）

私はD評価としましたが、原理原則から言うとイベント事業は市の負担でやるのは

なじまないなと思うのですが、40周年の時にも補助していないし、収入と支出のバランスを見て自助努力をしてやるべきと思いました。

(山口会長)

前は補助なしで行っているし、会場を変えたからと言って補助をするのかという意見もありますが、評価とすればBかなという思いがあります。

また、収入の確保を図り市の負担を減らす努力をすることが必要だと思いますので、このようなコメントを入れるということではいかがでしょうか。

(川勝委員)

50周年事業だからいいでしょう、ということであれば60周年もということになり継続していくことになります。イベントというのは自主財源でやるのが基本だと思いますね。

(山口会長)

やり方として、市民参加でやるということがあったのでB評価ではと思いました。

(西村副会長)

私は、この行事はお祭りの要素もあるので市も寄附的な意味合いで協力することでAに近いB評価でいいと思います。

(川勝委員)

収支の面では自助努力が必要だと思いますが、他にイベント予算を補助で実施している事業はありますか。

(事務局)

40周年、50周年事業で補助金を出しているのはこの事業だけですが、後藤純男絵画展などは市の主催事業として実施しています。

(廣田委員)

合唱連盟の人たちがどのくらい参加するのか。また、その方たちのレッスン料(報償費)の内訳が不明確です。

(山口会長)

収支については明確にする必要がありますし、自助努力をして少しでも市の負担を減らすべきだと思いますが、事業を実施することについては問題ないと思いますので評価としてはB評価としたうえでコメントをどのようにするか考えたいと思います。

次にNo.4「私立保育所AED設置事業補助金」は、毎回議論になり指摘しておりますが、まだ具体的な検討はされていないようです。

設置事業としてはやめるわけにはいかないと思いますが、再リース、再々リースは自助努力でという意見もあります。皆さんの意見はA評価4名、B評価2名、C評価1名です。

(川勝委員)

やめるわけにはいきませんが、金額にばらつきがあり、これは何とかしないといけないと思います。

どの機種を買うかは自由でいいですが、助成する単価は決めておくべきだと思います。

(山口会長)

私も、助成の上限額を決めておくべきと思います。

(廣田委員)

幼稚園や保育所のAEDは壁付けになっているので金額も高いのかと思いますが、この方が目に付くし、幼稚園や保育所という場には必ずあるということが伝わっていれば、一般の人も活用でき公益性もあると思います。

(川勝委員)

再リースの部分があるので私はC評価としましたが、何年で再リースとなるのか、また、何園が再リースか。

(山口会長)

5年で再リースとなるので、多くが再リースだと思います。

設置が必要なことは間違いないが、再リースをいつまで補助するのか、単価のばらつきは統一すべき、補助額を定額とすべき等々、市にも検討してもらわなければならないことが沢山あるが、ヒアリングの中では検討の中身が見えなかったので、これらのことを踏まえ評価をどうするかコメントの書き込みも含め私の方で整理し、次回にまとめたいと思います。

それでは、次のページに移ります。

No.5「自治会掲示板設置費補助金」、No.6「自治会館維持管理費（大規模修繕・冷暖房機器設置）補助金」、No.7「自治会館建設事業補助金」の自治会に対する補助ですが、いずれもA評価4名、B評価3名です。

これについては、川勝委員から自治会だからと言って安易に補助するのではなく現場の実態や緊急度などをしっかり把握して補助すべきなどの意見がありました。

このようなことがあって、A、Bに評価が分かれたのかなと思いますがいかがですか。

(川勝委員)

危険度とか色々あるのかと思いますが、実態をよく把握してもらって優先順位を決めて計画的にやることで予算の平準化を図るべきだと思います。

(山口会長)

設置した場所などによって老朽化の度合いも変わってくるので単なる年数だけでなく、実態をよく見てやるべきだと思います。

(川勝委員)

先ずは、現場でよく点検してもらってから要望いただいてやるべきだと思います。

(山口会長)

これについての皆さんの評価はAなのかなと思いますが、実態の把握という意味で、もっと現場を見てほしいということからBをつけている人もいるのかなと思います。

(廣田委員)

実態の把握はしていると思いますがどうですか。

(川勝委員)

ヒアリングの中ではそのように感じなかったし、要望に基づいてとの説明だった。
(山口会長)

緊急的に修理等した時の対応はどうなるのか。

(事務局)

翌年度の申請に向けて3, 4か月前から準備をしているので翌年度の申請となるのかと思います。

(川勝委員)

緊急避難的なものなので、予備費や補正予算での対応となるかと思います。

(山口会長)

評価としてはAで良いかと思いますが、実態把握などの点についてコメントを入れるということで次回までにまとめたいと思います。

次のページに移ります。

No. 9「障害者福祉施設整備事業補助金」とNo. 1 1「就労支援施設利用者負担助成金」は、全員A評価、No. 1 0「障害者福祉サービス等利用助成金」とNo. 1 2「高年齢者等雇用促進奨励金」はA評価6名、B評価1名となっておりますが、このページについては総合評価とすれば4件ともA評価で良いと思います。

(川勝委員)

No. 9に関連してですが、厚生労働省の一般会計補助金の資料に社会福祉施設等施設整備費補助金というものがあって、その中に障害者関係施設についての国県市等の補助率が記載されていますが、これとNo. 9の補助金との違いは何か確認したいのですが。

(事務局)

次回までに確認します。

(山口会長)

現段階でも額が固まっていないということなのでコメントは入れざるを得ないと思います。

(光川委員)

No. 1 0についてですが、これまでずっと補助件数0で来ていて、やり方を変えたら利用者増が見込まれるとのことですが、制度自体に補助の問題があるのではと思い一部C評価としました。

(山口会長)

この補助制度についてはPRも不足しているし、制度が煩雑で非常に分かりにくいと思います。

誰がどれだけサービスを使っているか分からないという状況なので、実態を把握することが必要とのコメントは入れるべきだと思います。

また、No. 1 2についても、27年度実績で積算しているとのことですが、すでに1年以上雇用している人がいて実態を把握できるのですから、安易に過去の実績で積算すべきではないと思います。

これについても評価はAとしてコメントを入れていきます。

次のページに移ります。

No.13「障害者職場実習奨励金」は、全員A評価になっていますが、少しコメントを入れてみます。

No.14「商業振興共同施設設置等事業費補助金」とNo.15「商店街空き店舗有効活用事業等補助金」は、A評価3名、B評価4名となっていますが皆さんいかがでしょうか。

この2件については、審議会からの意見を真摯に受け止めていただき要綱の改正など対応されています。

(川勝委員)

No.14の補助率ですが新規で3分の1、補修・改修が10分の3ではあまりにも近い数字なので補助率の見直しが必要なのではと思います。

(山口会長)

地域の安全安心の上で必要だということについては間違いない。ただし、商店街の自助努力が必要という点、補助率の検討が必要という点などをコメントとして入れてB評価としたいと思います。

次にNo.15についても評価が分かれています。

(西村副会長)

流山は中心核のない街といわれているので商店街が育ちにくいのかなと思い必要性は感じます。

(山口会長)

家賃補助にしても、長期的にということではなく期間を区切り時限的な補助なので良いと思いますが、問題は出店した店舗が根付いていかなければいけないということです。

(川勝委員)

これまで、補助対象は商業団体だったと思いますが、産業競争力強化法に基づく創業者という定義が新しく入ってきたので、商業団体と創業者の概念を整理しないといけないと思います。

(山口会長)

評価としてはBで良いかと思います。ただし、補助対象の定義など中身の精査をコメントとしていれます。

次にNo.16は、B評価6名、C評価1名に分かれています。皆さんのコメントを見ますと基本は所有者がやるべき、もう一点は既得権化しているということですね。

(川勝委員)

水田の管理は所有者がやるべきですが、誰もやらなかったら荒れるし、補助をすれば既得権化してしまうし兼ね合いが難しいと思います。

農業振興策の中で考えなければならぬし、平成30年に見直しという話もありますので、それを契機に見直されればと思います。

(廣田委員)

農業生産法人など法人化の話がありましたが現実性があるのか。

(山口会長)

色々と夢を語っておりましたけれど、現実的なプランは何もないように感じました。

(中村委員)

平成30年から実行に移すとの説明がありましたが、本当にできるのかなと思いました。

(川勝委員)

市として遊休水田をどうするのか、どうしたいのか考えが見えない。

管理しないから草が生え、虫が出て隣接の水田に迷惑がかかるから補助を出して草を刈る。補助をやめれば草刈りを誰もしない、このような悪循環では何も解決しないと思います。

(山口会長)

農業振興基本指針を作って、それに基づいて色々やっているのだと思いますが、だからと言って、この審議会是指針があるならその通りやればいいよというわけにはいかない。

(中村委員)

農地をやめてしまうという考えはないのですかね。

(山口会長)

農地を転用するには色々制限があるので、その範囲内であれば可能ですが、この遊休水田は元々農家が耕作放棄しているからこのようになってしまった。

法制度の中で色々な制限が掛かっているのが難しいということではありますが、このまま漫然といくのかという思いはあります。

評価とコメントについては私の方で考えてみます。

次のページに移ります。

No.17「農林水産業の振興に関する補助金（都市農業振興促進事業費）」は、2事業を統合し1つの事業としていますが、統合してどうなるのかという感想を皆さんもっていると思います。

総合評価とすればB評価にせざるを得ないと思います。

(川勝委員)

統合しても何も変わっていない。今後、新たな何かが入ってくるとか、申請者が便利になるとか、前向きな考え方をすればいいですけど、残念ながら今のままでは統合の意味がないと思います。

(山口会長)

国の都市型農業振興政策の下でやっていくのは良いが、市としての考えやメリット、効果がどうなのか見えない状況です。

(川勝委員)

平成28年度の流山市の農業施策に関する建議の中でも新規農業者の育成や農業生産法人の立ち上げとか、特産品を作りますとか書いてはあるんですが、この補助事

業で見えてこないです。

(廣田委員)

野菜のブランド化について、他市ではうまくいっているが、流山は品質向上ばかり言っていて新しい試みがないと思います。

(西村副会長)

近隣では、ネギと言ったら松戸、枝豆と言ったら野田というようにブランド化されているが流山にはないですね。

(山口会長)

この事業についての総合評価はBとしてコメントを考えたいと思います。

No.18「農業近代化資金利子補給金」は、融資実績に基づく利子補給ですのでA評価にしたいと思います。

次に、No.19「農林水産業の振興に関する補助金（米飯給食における地産地消推進事業）」は、増額する部分については、学校生徒・児童数の増加によるものなので仕方ない、問題は何時までも旧態依然と単価の見直しもなく続けているという点がありますので、このようなことをコメントに入れたいと思います。

(川勝委員)

農家の所得向上のために助成するのか。自主流通米として自由に売れる中で、このような価格調整のようなことが成り立つのかということがあるので否定的な評価となりました。

地産地消ということから言えば、この位の期間やれば定着したと思うし、米価自体が自由競争の中で市場原理が働いているし、どうかなと思いますね。

(山口会長)

地産地消という名目のもとで旧態依然の補助を続けることは疑問だし、補助の在り方から検討してほしいということをコメントとして入れましょう。

(廣田委員)

食育という点ではどうなのか。流山の米を使っているから食育だというのはならあまりにも短絡的。

(山口会長)

受け止め方ですが食育よりも、まだ地産地消の方が説明としてはいいように思いますね。

都市農業としての難しさもあると思いますが、総合評価はBとしてコメントを考えたいと思います。

次に、No.20「農業振興資金利子補給金」は、昨年度の融資実績に加えて新規の融資が含まれます。評価はA評価4名、B評価3名になっていますので、総合評価を決めたいと思います。

廣田委員のコメントにもあるように新規就農者がいないというのは私も同感で、既存の農家だけになっているので、何か新規就農者の増加につながるような審議会としてのコメントを考えたいと思います。

(西村副会長)

新規就農者がいないというのは残念に思います。

(山口会長)

総合評価はBとしてコメントを入れたいと思いますが、これで決定ではありませんので、来週コメントと合わせて再度議論したいと思います。

それでは、一通り終わりましたので確認をいたします。

No.1はA評価としますが自助努力の点などをコメントとして検討します。

No.2はB評価とし、収支の点をコメントとして考えます。

No.3はA評価とします。

No.4はB評価とし、コメントを入れます。

No.5、No.6、No.7の自治会関係はA評価としますが自治会からの要望に基づくだけでなく実態を把握して行うことをコメントに入れます。

No.8はA評価とします。

No.9もA評価とします。

No.10もA評価とします。

No.11もA評価としますが、実態の把握などについてコメントに入れたいと思います。

No.12もA評価としますが、実績に基づく算出だけではなく少し工夫をしてコメントを加えます。

No.13もA評価としますが、少しコメントを加えます。

No.14はB評価としますが、自前・自立、補助の統一化についてコメントを考えます。

No.15もB評価としますが、新規創業者の適合性の精査などをコメントとして考えます。

No.16もB評価としますが、自前でやるということと農業振興策の中での検討、既得権益化と言ったことをコメントしたいと思います。

No.17もB評価としますが、統合そのものは認めますがメリットの面で弱いということについてコメントを入れます。

No.18はA評価とします。

No.19はB評価とし、補助の在り方や見直しについてコメントを入れます。

No.20はB評価としますが、新規就農者への努力などについてコメントを入れたいと思います。

以上を整理して来週に議論したいと思います。

最後に事務局から何かありますか。

(事務局)

次回は答申書の7ページ以降について総合評価とコメントが入ったもので議論いただくこととなります。

(山口会長)

これもちまして、本日の会議は終了とします。
ありがとうございました。

閉 議 11時10分

流山市補助金等審議会
会長 山口 今朝勝